

## 「EU」社会の現状と未来」

日時…平成二十七年六月一日  
(月)

所長 福田 耕治 氏

### 1. はじめに…EU統合の理

念・歴史と概要

2度の世界大戦によるヨーロッパの疲弊によって世界の覇権的地位からの転落するに至った。その後、ドイツの勢力拡大によるヨーロッパ秩序が崩壊した。東西冷戦下での共産主義の脅威からの防衛と広い市場と経済的枠組みと経済近代化の必要性からヨーロッパ統合が進んでいった。  
1992年のマーストリヒト条約で1993年11

月EU(欧州連合)を発足させる。特にドイツでは、ヨーロッパの国際秩序の中核にEUを位置付け、経済統合に加えて、国家間協力を強化した。

統合の結果として、ヨーロッパにおけるナショナリズムの対立を克服し、平和、自由・民主主義の確立、基本的人権の尊重、法治主義を根付かせることに成功した。ヨーロッパ経済の復興により、世界におけるヨーロッパの発言力が復活した。しかし、まだまだ課題は多く、危機の連続にある。

### 2. 現在のEUが直面している

社会的危機とその原因

2009年にギリシャの国債暴落と2010年にリーマンショックの影響によ

る不動産バブルの崩壊を受け、スペイン、ポルトガル、アイルランド、イタリア、キプロスが財政危機を迎えた。2010年から2013年にかけての資金援助と関係国の努力で金融危機は回避の方向へ進んだ。

2014年5月に、欧州議会選挙で全766議席のうち、欧州懐疑派議員が152議席を獲得した。加盟国内での欧州懐疑派の躍進は、国内選挙にも大きな影響を及ぼす。反EU統合・移民排斥への支持者が増加することによって、EU加盟国の連帯が崩れる危険性が出てきた。これは、もとも欧州統合に対する反論はあったことに加え、EUの緊縮財政に対する不満がでてきたこと、失業率が悪

化したこと、経済が低迷してきたことが原因と考えられる。

### 3. EUの未来・将来を懸念する悲観的シナリオ

ギリシャのユーロ圏離脱、英国のEU脱退、EU経済の低迷、ヨーロッパにおいてテロが頻発することによって、EUが解体することもありえる。

EU解体が起これば、ヨーロッパの政治・経済・社会は混乱状態に陥る。そして、ヨーロッパの政治経済の混乱は、世界中にも波及し、世界経済危機から最悪の場合には第3次世界大戦へのトリガーになるリスクもある。

#### 4. EUの未来…ヨーロッパ研

究者が予想する現実的シナリオ

ギリシャのユーロ脱退はないと考えられる。それは、ギリシャが破たん国家になることであり、ギリシャのEUからの脱退にもつながり、EUを維持することが困難になる。ギリシャとギリギリの交渉をしつつ、ギリシャ国民をなだめながら、資金援助を継続すると考えられる。

英国のEU脱退について

は、英国の地位低下を招くため、最終的には回避されたと考えられる。英国経済は、大陸経済に頼っており、EUを通じてしか世界に発信する道はない。

EU経済の回復にはかなり時間がかかるが、新加盟

国が力をつけ、南欧諸国が改革を進めれば改善される。これには今後10年以上必要かもしれない。

経済状況が上向けば加盟国内も安定することも期待できるが、EU統合の意義を新世代に理解させることが難題となってくる。

2015年2月には、EUは、「エネルギー同盟」を足させ、エネルギーの自立化に向けて大きく動き始めている。

#### 5. おわりに…解決すべき問題は何か・日本への示唆

(一)ヨーロッパ統合の原点

を見直し、21世紀のヨーロッパ統合像を提示できるようにすると、そして、冷戦後のEU統合の目的を再定

義・明確化し、制度設計を再検討することが必要となってくる。

(2)EUという超国家的な地域機構の政治的正統性を確立し、国家と超国家機構が併存するハイブリッドの新しい政治システム「欧州ガバナンス」を欧州市民に認知してもらうことが不可欠である。

(3)EU内部の東西対立・南北対立を解消し、経済的格差の是正を進める必要がある。

(4)EU統合は絶対に良いものであるという善玉論を金科玉条のごとく世界中に広めようとすると、ヨーロッパの価値観の押しつけだと外部世界からは認識され

ることをヨーロッパは悟る必要がある。

(5)世界中の各地域は、EU統合を一つのモデルとして地域統合を研究し、その中から自分たちの地域に応用できるものを考えていくことが必要である。

(6)社会保障の在り方と労働市場改革、移民・難民問題への対応が必要である。

#### 6. 質疑応答

EUが将来持つのかどうか。

↓ヨーロッパ統合は長期のスパンで考えて機関連計している。また、EU脱退のデメリットのほうが大きいため、EUの脱退については

そう簡単には起こらないと思う。今までも何度も円高がつぶれるという時期はあったが、何とか持ちこたえてきた。

ギリシャのユーロ脱退はないとのことであるが、もしギリシャが脱退した場合にはどのような影響があるか。

↓さらに破綻国家に近づくと思う。観光業だけではやっていけないという状況となってしまう。特にドイツ、フランスなどは赤字国債を持っているため、なんとか阻止する方向で進めると思う。また、8割のギリシャ国民が残留を希望している。

以上